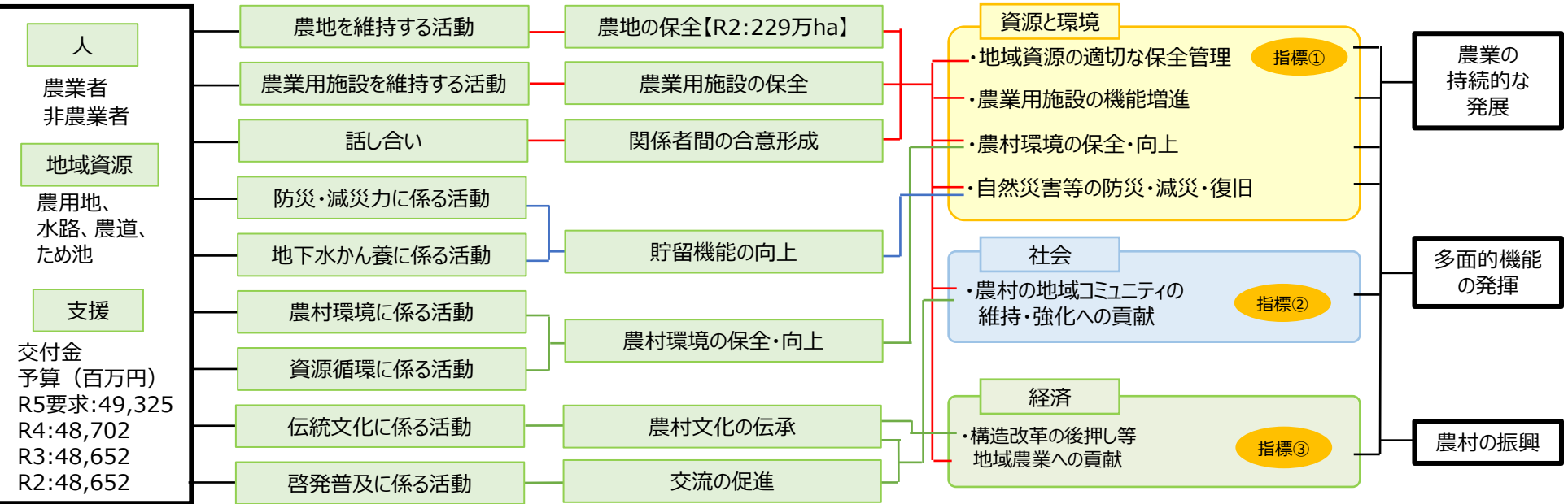


【現状・課題】
農業・農村の多面的機能は地域の共同活動により支えられているが、農村地域においては、過疎化、高齢化、混住化等が進行。
多面的機能の維持・発揮のため、また、担い手農家への農地集積という構造改革の後押しのため、地域の共同活動による地域資源（農地、水路、農道等）の適切な保全管理を推進する必要。

【現状・課題を示すデータ】
基幹的農業従事者数（個人経営体）
H27 → R2：176万人 → 136万人

農地面積(万ha)
H27 → R2：450万ha → 437万ha



- 指標①

活動組織の構成員数
H30：241.7万人・団体、R1：240.5万人・団体、R2：237.7万人・団体
最終目標年度R3～R7：最終目標延べ1,400万人・団体
- 指標②

地域共同活動における農業者以外の多様な人材の参画率
H30:32.2%（年度目標:36%）、R1:35.0%（38%）
R2:35.7%（40%）
最終目標年度R7：最終目標約50%以上
- 指標③

担い手を支える地域共同活動により
構造改革の後押しが図られている地域の割合
H30：80.9%（年度目標：61%）、R1：82.1%（65%）
R2：84.2%（70%）
最終目標年度R7：最終目標100%

外部の影響要因
「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」の成立により、中山間地域等直接支払、環境保全型農業直接支払とともに、法律に基づく制度として実施。